

第二期 倫理部会（仮称）第二回会合

日時：2019年5月11日13時30分～16時30分

場所：聖心女子大学グローバル研究センター

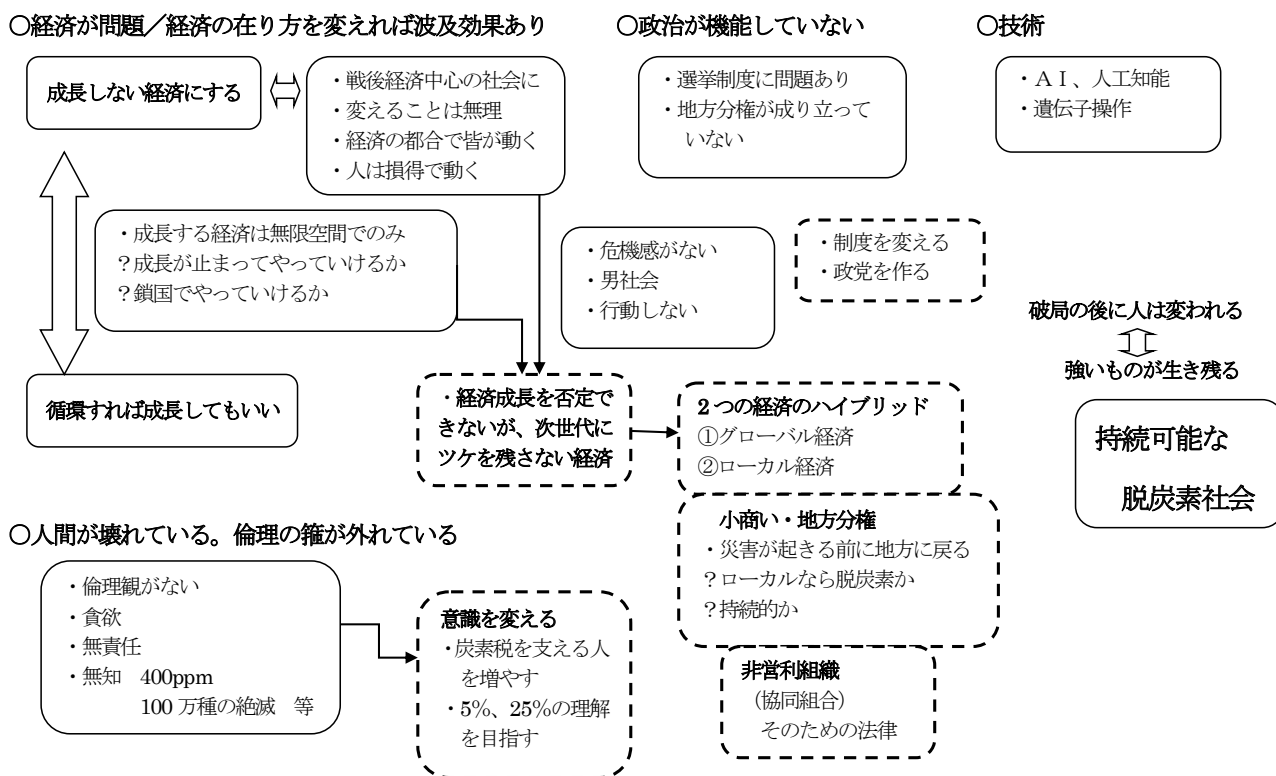
参加者：荒田鉄二、工藤泰子、石川レイ、庄司元、塚本啓之、中山茂、三國博貴
藤田成吉、加藤三郎、藤村コノエ、尾利出あおい

最初に、脱炭素社会に向けて現代社会で何が大きな課題かについて話し合ったが、「経済」「人間そのもの」「政治・民主主義」が課題であるという意見が出た。

経済については、そもそも成長する経済は無限の空間では可能だが、有限な地球環境の中では無理があり、成長しない経済にしていく必要があるという意見と、循環さえすれば成長する経済も必要ではないかという意見が出され、意見が分かれた。また経済を司るのは人間であり、その人間の倫理観がなくなっていること自体が課題であるという意見も出された。さらに、制度を変える必要があり、墮落した政治を正すには選挙制度を変える必要があるといった意見も出された。

また将来の方向として、2つの経済の方向があり、当会としては「小商い、地方分権」に着目した提案も必要ではないかという意見も出された。なお、技術については次回議論する予定。（下記は、当日の意見の概要）

【脱炭素に向けて、現代社会の何が大きな課題か】



※次回の倫理部会は、7月13日（土）に開催いたします。詳細は16Pにてご確認ください。